

# あいあいつうしん

No. 560  
2024 (令和6)  
12.12

編集 京都ライトハウス  
視覚支援 あいあい教室  
TEL:075-462-4462(代表)  
075-320-4038(放課後)  
FAX:075-462-4464(代表)  
aiai@kyoto-lighthouse.or.jp

秋から冬へと移り変わり、冷たい風が身に染みる季節。本格的な冬の訪れを感じます。街にはクリスマスソングが流れ、心躍る子どもたち。あいあいでは、みんなでクリスマスの歌を歌ったり製作を楽しんだりしています。“あわてんぼうのサンタクロース”は、来てくれるかな？

今年も残りわずかです。体調に気をつけてたくさん遊ぼうね！  
それでは今月のつうしんをお届けします。



## 12月の予定

風船のプレゼントは  
こちらです！

- <児童> 19日(木) ひよこクラブお遊び会(14:30~16:00)  
21日(土) お父さんたちと遊ぼう会~みんなでクリスマス~
- <共通> 29日(日)~1月3日(金) 冬休み(ライトハウス休館)  
※新年の通園・通所は、1月4日(土)から始まります。  
28日(土) あいあい交流(紅白ゲーム大会)
- <職員関係> 6日(金)、13日(金)  
令和6年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程  
9日(月)、10日(火) 安全運転研修  
9日(月) 障害者虐待防止に関わる事業所及び施設従事者向け研修  
13日(金) 子どもの発達と子育てを支える療育ネットワーク  
18日(水) 大阪医療福祉専門学校 授業講師  
25日(水) 令和6年度 事業所向け関係職員研修会
- <実習生の受け入れについて>  
3日(火)~7日(土)に1名、介護等体験の実習生を受け入れます。ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

★京都ライトハウスホームページから“Web版あいあいつうしん(カラー)”がご覧になれます★  
あいあい教室内のコンテンツから閲覧可能です！ぜひご覧ください！



児童

# 年長児 保護者の皆様からのメッセージ

年長さんの保護者の皆さんから、卒園に向けて想いのこもったメッセージを寄せていただきました。お忙しい中ありがとうございました。

年末の街は  
にぎやかですね



## その3 Yさん

当初は、母子分離も進まず戸惑いながら通っていたYでしたが、自分のペースを尊重してくれる安心して通うことができる場所だということが分かり、今では“あいあい、今度いついけんの？”と、とても楽しみにしています。

Yは、1歳になる頃に最初の目の手術をしました。片方の目に光が入っていないことが分かり、医師からは“視力が出るか分からない”“似たようなケースを知らない”と言われました。いくら作り直しても、コンタクトレンズがポロポロと落ち、アイパッチは数秒も貼ってられない。視力が出るかも分からないのに、泣き続ける子にアイパッチを貼る。なかなかしんどい時期を過ごしていました。そんな頃から、私たち親子を受け入れていただいたことに、とても感謝しています。あいあい教室の先生方には、本当にたくさんの相談に乗っていただいています。専門的なお話はもちろんですが、色々ご相談をした際“大丈夫、案外子どもってたくましいから！”という言葉が心強く、印象的でした。

保護者室のお母さん方と楽しくお話しできるのも、残りあとわずかとなってしまいました。母子ともに、たくさんお世話になり本当に感謝しています。

## その4 Cさん

Cがあいあいさんに通い始めたのは、3歳半になった頃でした。追視もせず、目が合うこともあまりなかったため、眼科を紹介してもらい検査をしてもらいました。医師からは、“視神経が潰れているので全盲です”と言われ、とてもショックでした。と同時に、外に出ると眩しそうにしているのに？と、疑問もありました。元々通っていた療育園の先生や友だちからあいあいさんのことは聞いていたので、すぐる思いで通い始めることになりました。

ショックで現実と向き合えない中、先生が見えない・見えにくいことがあったとしても、色々工夫をして見せることで、見てみたい気持ちや興味が湧いて、

子どもの脳はどんどん刺激され成長していく、子どもの成長は無限だということを知っていただき、その言葉に本当に救われたこと、今でも忘れません。今までは医学的な観点からしか見てもらえていなかったのも、その言葉が嬉しく、諦めずにCのためにできることはしてあげたい！と、前向きになることができました。

ここでは、はっきりとした色やコントラストで見えたり、音や匂い、触感など、五感を使って視覚に働きかけ、見るための様々な工夫がされていました。たくさん刺激を受けることで、Cも興味の範囲が増えて、今では追視をしたり見たいものに顔を向け、うまく視線が合えばニコッと笑うことも増えてきました。手を取られたり、触られたりすることを極端に嫌がっていることもずっと疑問でしたが、目の見えにくさによる経験不足や不安からだということを知り、声かけの大切さも学びました。私も関わり方をたくさん学ばせていただき、この3年間で母子共にレベルアップできたかなと思っています。

ここでの経験はずっと宝物です。あいあい教室の先生、お友だちには本当に感謝しています。ありがとうございました。

## その5 Kさん

生後3ヵ月で左目が先天性白内障のために手術、右目は遠視です。あいあい教室では、弱視の子ども向け教材道具や文字を大きく拡大した絵本、手の感覚を発達させる作業など、私も多くのことを学びました。お花見、プール遊び、どんぐり拾いなど、その季節でしかできない遊びをあいあい教室でたくさん楽しみました。大好きな歌と楽器で演奏する音楽の時間は、特に生き生きしていました。親子で支えて頂きありがとうございました。とても感謝しています。

先生方から元気と、そして張りつめた心をホッとさせてくれる安らぎを感じていました。小学校も笑顔で、たくましく成長してほしいです。

モールに来てたんだね



**【ご寄付・ご寄贈いただき、ありがとうございました】**

～みなさまからの温かいご支援、感謝申し上げます～

・点友会様より【拡大文字絵本】1冊『スーホの白い馬』



# あいあい放課後等デイ・かわら版

## 『夜まで あいあいバーベキュー』のご報告

11月30日（土）に『夜まで あいあいバーベキュー』を行いました。

あいあいの子どもたちやきょうだい児19人、お父さんやお母さんたち13人、職員やボランティアさんも合わせて38人と、たくさんの参加がありました。

はじめは、カレーや焼きそばの準備。野菜やお米なども、ゆっくり触って重さや大きさ、匂いも確認。玉ねぎの皮をめくって「なんか、葉っぱみたいな音がするわ」「キャベツは重たい」「お米、硬いな」などと、興味しんしん。この日は、お料理の先生としてNパパが来てくださり、実際にキャベツや玉ねぎ、人参などを子どもたちの前で切ってくれました。近くで見たり、耳を澄ませてじっくり音を聞いたりする子どもたち。野菜によって切れる音が違うことも発見しました。最後は、Nパパから「野菜には、とっても栄養があって煮たり、炊いたりするととても美味しくなります」と、お話がありました。お母さんやお父さんたちも、焼きそばやフランクフルトを焼いたり、おにぎりを作ったり、本当にたくさんお手伝いしていただきました。

夕方からは、2階のプレイルームでバーベキューの始まりです。自己紹介の後、カレーや焼きそば、デザートプリンなど、いっぱい食べて満足した子どもたち。懐かしのプレイルームでもたくさん遊びました。

家族みんなで楽しめて笑顔が溢れる『夜まで あいあいバーベキュー』になりました。たくさんの差し入れやお手伝い、本当にありがとうございました。



大きなキャベツを切っています



お米を洗ってお釜に入れたよ



カレーや焼きそばみんなで食べると美味しいね

\* 今月の一言 \* 街中がクリスマスの雰囲気にも包まれる、12月が1番好き！

もうサンタは来ないけど、自分が自分のサンタになる予定♪ 木全さおり

編集人 古川 千鶴 〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町11 社会福祉法人 京都ライトハウス 視覚支援 あいあい教室 Tel:075-462-4462